

視察ルポ

総務委員会視察ルポ

総務委員会は、釧路市、登別市、千歳市の三市について五月十九日から二十一日まで視察を行った。

釧路市では、施設や事務事業の成果をできるだけ客観的な指標などを用いて評価し、今後の事業の見直しや重点策の検討をするために、「行政評価システム」を導入し、全七百八十四事業を評価し三事業について廃止、他事業も見直しや改善を行った状況や手法について調査した。

登別市では、本市の市営住宅の長期的計画について研究するため、先進的な取り組みをしている登別市営住宅の現状や市民のニーズ、将来的な計画についてと、全国でもあまり例のない全議員に対するパソコンの貸与とその活用状況及び議会のIT化についての二項目について調査を行った。

千歳市は、これまで周辺市町村と合併問題について協議をしてきたが、特例法の期限にとられず長期的な視点で協議を継続するという決定をしたことについての経緯と今後の見通しについて調査

を行った。また行政評価システム
の調査では、釧路市と違う手法を用いて事業の見直しを行っており非常に参考になった。

昨年の視察を生かして、入札制度改善を執行部と共に研究し、改善されつつあるので、今回の研修の成果も生かされるよう議論を重ねて参ります。



千歳市「行政評価システム」の説明を聞く総務委員会

厚生委員会視察ルポ

期間五月十一日より十四日まで、秋田市福祉総合施設、ウエルビュー「いずみ」は全国的にも珍しい

複合施設で保育園と知的障害者施設と高齢者施設が同じ屋根の下に併設された施設でした。クリスマス会や餅つき大会、運動会等全施設で行われ、保育園児、障害者、高齢者が毎日顔をあわせ、言葉が交

わされる効果は大きく、ここの保育園を卒園していく児童の成長に期待したい。ケアハウスに入居当初、保育園児の声を煩わしく思っていた人も、餅つき、粽作り等の伝統的役割を果し、デイサービスの手伝いや菜園・花壇づくりなどで存在感を感じるようになったとのことでした。

「仙台市地域生活支援センター」は、精神障害者の生活支援の場として通所施設でした。空き事務所を借りての開所で精神障害者の、夜間病状対応の二十四時間の電話相談が設置されている。仙台市では、ほかに市内に支援センターが四箇所あり、今後人口十万人に一箇所の予定であると五箇所を計画されているそうです。



秋田市福祉総合施設を視察する厚生委員会

夜間窓口開設のほか景品をつけるなどして市民への意識啓発活動の徹底を図り、九一%まで向上させている。(ウェットティッシュの配布、JR・私鉄駅への駅貼り広告、バスのポデイラッピング広告、庁用車、ゴミ収集車での広告等)

「春日市議会男女平等推進研究会」が発足

春日市議会では、女性議員五人が発起人となり、男女平等推進研究会を立ち上げました。

「男女がお互いの人権を尊重しつつ、社会の対等な構成員として、自らの意志によって、社会のあらゆる分野における活動に参画できる男女平等参画社会の形成を進めることが重要である・中略」等の理念と目的のもとに五月十日に発会し、学習・研究を進めています。

この会は任意の研究会ですが、議員のほぼ全員が参加しています。今後、月一回のペースで学習会を行うこととしており、様々な市民団体の方たちとの懇談会なども企画しています。市が進めている基本条例作りなどに何らかの提言などが出せればと思っています。

- 代表 長能 文代
- 副代表 船越 妙子
- 幹事 吉村 敦子
- 幹事 古賀 恭子
- 幹事 野口 明美

編集後記

吹く風に秋の気配が感じられる今日この頃ですが、もう早いもので今朝、ツクツクボウシが鳴いていました。この声を聞くともう夏も終わりだなと感傷に浸るのは私だけでしょか。

まだまだ暑さが続きますが、毎年夏の気温が上がっているような気がします。私の子どもの頃は緑や水田も多く、そこを吹き抜けてくる風はほのかに涼しく心地よいものでした。

肌を通して自然環境や環境問題を改めて考えさせられる炎暑でした。

(成之)

- 議会報編集特別委員会
- 委員長 長能 文代
 - 副委員長 谷 成之
 - 委員 松尾 浩孝
 - 委員 柴田 英明

